

能登半島地震における 災害ボランティアバスパック

能登半島地震における被災地のボランティア活動を行うため、4月から5月に、計2回ボランティアバスパックを実施しました。早朝に豊丘村を出発し夕方石川県能登町に到着、民宿で一泊し、翌朝から能登町内で災害ボランティア活動を行い、深夜に豊丘村に帰着しました。

村内外から集まったボランティアさんと社協職員が、4月は5名、5月は4名で活動しました。どちらも、主な作業は被災されたお宅の家財道具の解体・運び出しでした。解体や処分について、お気持ちを整理しながらすすめる方が家族内でも処分について思いが分かれる方など、生活の再建に向けたペースは人によって違います。被災された方の

活動をして
いる最中、近
所の方が様子
を見に來たり解体道具を持ち
寄り手伝ってくれたり、また
近所では井戸端会議の姿も見
られ、ご近所同士、気にか
け合い支え合っている地域だと
感じました。

輪島市や珠洲市では、ボラ
ンティアが入れないほどの被
害を受けた場所もあり、長期
的な支援が必要になると感じ
ています。今後も支援活動を
継続していきます。

参加された方の声

「能登半島地震と 災害ボランティア活動」

久保田 隆

元旦に発生した能登半島地震のニュースを見て、災害支援活動に参加することに決めていたが、遠隔地であり宿泊場所のことや軽トラの運転も大変なことから躊躇していたところ、村で災害ボランティアを募集していることを知り参加しました。

長野市の台風19号災害と今回と2度目のボランティア活動への参加となりました。今回参加して、地理的な問



被災した家財道具の集積所の様子

思いを尊重し、寄り添いながら活動がすすめることが大切だと感じました。

本格的な復旧までには様々な課題解決と、住民が再建に立ち上がるまでに長期間を要すると思われました。

一方、能登半島の被災地では、4カ月経つのに道路や上水道の仮復旧工事が中心で、倒壊した家屋や屋根をシートで覆った住宅を各所で見ました。被災した家屋では玄関は歪み、室内は割れたガラスや食器が発生時のままに散乱していて驚きました。



5/31の参加者



4/19の参加者

「能登町災害 ボランティアに参加して」

池田 豊

5月末、うねる道、自動車道を突き上げる振動、このとき初めて被災地に向かっているのを実感します。災害ボランティアの参加は東日本大震災、北信の台風19号による水害、そして今回で4回目です。活動は3階にある家具の解体及び家財の搬出、そして集積場への運搬です。午前中はチーム豊丘の4名、午後は6名加わり10名で行い目的を達成しました。還暦オーバーの私にとって階段の上り下りはきついものがありました。汗にまみれながら仲間と共に頑張りました。依頼主様からは幾度となくお礼のお言葉をいただき、とても報われた気持ちになります。また機会があればと言いたいところですが、このような機会（災害）がないことを願っています。

令和5年度

豊丘村社会福祉協議会事業報告

R5事業計画	R5事業報告
1 高齢者・障がい者等への支援・生きがい対策	
ア 豊丘おてこ隊の実施	利用会員 49 名、延利用者数 16 名
イ 認知症の正しい知識の普及啓発、相談・支援	認知症サポーター養成講座 3 回
ウ 認知症カフェの開催	3 個所、35 回 156 名
エ ヘルパーによる家事等の支援・安否の確認	ヤクルト配布訪問 13 名、件数 80 件
オ 福祉タクシー利用者証の発行と運営管理	登録者数 1,074 名、利用件数 10,876 件
キ 高齢者・障がい者等の組織への協力及び支援	事務局として支援
ク 「車いす対応軽自動車」の貸出	延利用回数98 回
ケ 配食サービスの実施(週1回)	延利用人員 686 名、実人員 14 名
コ 介護者リフレッシュ事業・ケアラズカフェ	介護者リフレッシュ 3 回 42名参加、 ケアラズカフェ 16名利用
サ 在宅要介護者等のおむつ代補助	168名助成
2 社会的弱者及び生活困窮者等の支援	
ア 暮らしの相談の実施	毎月 1 回実施
イ 豊丘村独自の小口資金の取組み	貸付実績 1 件
エ 生活福祉資金新型コロナウイルス特例貸付借入者の生活再建に向けたフォローアップ支援	県社協より10月交付決定、地域福祉課1名増
オ 日常生活自立支援事業	利用者 3 名、独自 3 名
カ 生活困窮家庭児童への学習・生活支援の実施	登録者 9 名、利用延人員 20 名
キ 「まいさぼ」出張所の相談窓口・支援業務	相談件数 延153回、食糧支援 延 61回
3 介護サービスの充実	
ア 居宅サービス計画の作成及び連絡調整	件数 1,014 件
イ ホームヘルパーによる訪問介護と生活援助	延 7,032回
ウ 「ほほえみ」における介護	延 5,428名利用
エ 介護保険相談窓口の常設	地域包括支援センターに職員 1 名派遣
オ 事業継続計画・虐待防止指針の策定	事業継続計画 3 月、虐待防止指針10月策定
4 介護予防対策等の充実	
ア 介護予防・日常生活支援総合事業による通所・訪問事業の実施	訪問介護予防 延 932名 通所介護予防 延1,264名 はつらつクラブ 延4,317名
イ 地域ミニデイサービス8地域の実施	延参加人員 1,137 名
ウ おいでなんしょ会、高齢者昼食会等への補助	おいでなんしょ会99件、高齢者昼食会 67件
5 住民が主体となって行う地域福祉活動の推進	
ア ボランティア活動に関する支援	ボランティア団体交流会・研修会開催
イ 「災害時住民支えあいマップ」の作成支援	未作成の地域への支援 1 件 作成済更新の支援 53件/54地区
ウ 赤い羽根共同募金、フードドライブ等住民助け合いの推進	フードドライブ 年 4 回、夏のふれあい訪問(飲料水・飴) 7・8月実施、みんなのカレー 7 月150食、 豚汁とおむすび 2 月180食
エ 高齢者ふれあい地域サロンの運営支援	実施延回数 224 回
6 非常時の対応への備え	
ア 事業継続困難時の事業継続計画の策定	R 6. 3 月 策定
イ 「災害福祉カンタンマップ」の活用と管理	社協利用者の災害時ささえあいマップ作成中
ウ 災害ボランティアセンター立上げ・運営訓練	10月 57名参加
7 福祉事業の普及啓発	
ア 社協報(年4回)の発行	年 4 回発行
イ 福祉啓発イベントの開催	11月福祉まつり、3月健康と福祉のつどい
ウ 福祉学習の支援	6月 中学3年生に実施

令和5年度 決算報告

法人運営

収入合計 80,251,189 支出合計 77,224,581

次年度繰越金 3,026,608円

(単位:円)

収 入			支 出			
区 分	R 4 決算額	R 5 決算額	区 分	R 4 決算額	R 5 決算額	内 容
会 費	2,315,090	2,208,000	法 人 事 務 費	22,810,549	23,651,458	役員報酬等
寄 附 金	35,794	162,696	地 域 支 援 事 業	21,994,991	23,256,061	高齢者昼食会助成金等
県・村補助金	68,919,927	68,162,939	結 婚 相 談 事 業	282,000	245,791	相談員報酬等
県社協補助金	2,011,000	3,687,174	くらしの相談事業	85,800	99,405	相談員報酬
共同募金配分金	1,340,791	1,171,776	ボランティア事業	953,275	885,417	ボランティア活動保険料等
受 託 金	4,278,209	441,447	福祉のまちづくり事業	16,946,269	17,246,316	福祉タクシー事業等
償 還 金 収 入	164,000	124,000	介護予防拠点施設管理事業	8,629,975	9,180,479	拠点施設はつらつ運営費
事 業 収 入	529,538	554,259	共同募金 配分金事業	1,162,252	1,350,315	夏のふれあい訪問等
雑 収 入	107,393	75,905	北部地区結婚相談所事業	3,993,633		
前年度繰越金	2,764,453	3,662,993	信州パーソナル・サポート事業	190,165	184,390	支援員謝礼等
			日常生活自立支援事業	118,891	129,157	コピー機使用料等
			固定資産取得支出	1,174,170	832,714	食糧支援物資保管用物置等
			積立資産支出等	461,232	163,078	運営基金積立等
合 計	82,466,195	80,251,189	合 計	78,803,202	77,224,581	

介護事業

収入合計 188,075,134 支出合計 164,439,090

次年度繰越金 23,636,044円

(単位:円)

収 入			支 出			
区 分	R 4 決算額	R 5 決算額	区 分	R 4 決算額	R 5 決算額	内 容
居宅介護支援収入	18,258,864	18,618,710	居宅介護支援支出	22,546,417	23,364,213	人件費等
訪問介護収入	35,199,994	28,729,967	訪問介護支出	31,213,852	31,335,599	人件費等
通所介護収入	60,616,151	65,927,625	通所介護支出	71,188,207	88,731,529	人件費等
はつらつクラブ収入	11,692,872	12,323,040	はつらつクラブ支出	12,834,769	13,293,120	人件費等
障がい福祉収入	1,148,884	1,256,530	障がい福祉支出	1,148,884	1,256,530	人件費等
積立資産取崩収入	0	20,000,000	固定資産取得支出	541,200	0	
拠点区分間 繰入金収入	424,304	399,795	ファイナンス債務の返済	970,704	970,704	介護ソフトリース料
退職預け金 返還金収入	0	8,587,575	積立資産支出	2,407	1,880	基金利息積立
退職共済預け金移管金収入	1,059,000	1,333,032	退職共済預け金 支出等	1,210,920	5,485,515	退職共済預け金等
前年度繰越金	44,156,151	30,898,860				
合 計	172,556,220	188,075,134	合 計	141,657,360	164,439,090	

第1回 介護者リフレッシュ

令和6年度第1回目の介護者リフレッシュを、5月22日(水)に開催いたしました。

今回は、花の寄せ植えとベジフルキッチンでランチ会を計画したところ、11名の介護者さんの参加がありました。

花の寄せ植えは、番木村J Aファームの方を講師に招き、寄せ植えについて教えていただきました。色とりどりの花の中から好みの植物を8つ選び、参加者の皆さんはそれぞれに素敵な寄せ植えを完成させていました。

それからベジフルキッチンへ移動し、楽しくお話をしながら村内の美味しい野菜料理などを堪能しました。



参加者の感想

- ・初めて参加させていただきました。可愛い花の寄せ植えをして、これから毎日水やり成長するのが楽しみです。ベジフルキッチンのバイキングもとてもおいしかったです。
- ・みんなとおしゃべりしながら気楽になり楽しいひと時を過ごすことができ良かったです。
- ・楽しい時間を過ごすことができました。日頃あまりしゃべることも少ないけれど、今日は思いきって話すことができ、また、美味しい食事も皆とることができて

豊丘中学校3年生福祉学習

誰もがお互いを大切にしながら、幸せに暮らしていくために

7月2日(火)、豊丘中学校3年生のみなさんが福祉学習を行いました。

初めに、あいサポーター講師、牛山玲子さんによる「あいサポーター研修」を受講し、様々な障がいやバリアフリーへの理解を深めました。また「笑い文字」上級講師、中村美幸さんによる笑い文字のお話と実演もあり、「ありがとう」という言葉について改めて考える機会となりました。

体験学習の時間では、目を覆った状態の生徒・サポーターする生徒がペアで校内を歩き、視覚障がいの方の生活場面の体験と、併せて「どうサポーターするか」も考えました。

幸せです、今日からまた、頑張るぞと思っています。楽しい時間がおしゃべりやごちそうで満たされました。苦しいのは自分だけではないと思いました。今後、介護者の皆さんがリフレッシュできるひと時を持てるよう計画していきます。



あいサポーター研修の様子

た。階段での安全なサポート方法や、物の位置を時計に見立てて伝える「クロックポジション」も、ペアで実践しました。

福祉学習を通してまわりの人々の思いや願いに心を寄せ、学習の最後には「今の自分のできることを生徒自身の言葉で伝えてくれました。それぞれの思いやこれからの行動は、学校生活も含めた、普段のくらしの幸せにつながると感じます。地域を支える、61名の頼もしいサポーターが誕生しました!



目を覆った生徒のペースに合わせて、声をかけながら歩きます

クロックポジションでペットボトルの位置を伝える場面で、手を添える声かけと一緒に、手を添える工夫をしていました



- ・様々な障がいを理解し、ひとりで悩まない、悩ませない環境をつくるのが大切だと思った
- ・相手がどんな気持ちなのか、どう接すれば安心できるか、考えて関わる事ができた
- ・どんなことでもサポーターする人の存在は大切だと感じた
- ・隣に人がいると安心できた。困っている人を見たら声をかけたい
- ・「ありがとう」を笑顔でたくさん伝えたい



笑い文字講師の中村さんからプレゼントしていただきました!

福祉タクシー証の申請はお済ですか？

豊丘村に12ヶ月以上引き続き居住されており、下記のいずれかに該当する方はタクシーを格安で使える「福祉タクシー証」の申請ができます。

対象者

1. 満73歳以上の方
2. 身体障害者手帳の交付を受けた1級、2級、3級、4級の1号・3号・4号の方
3. 療育手帳の交付を受けた方
4. 精神保健福祉手帳受給者
5. 満65歳以上の独居高齢者で村民税非課税者
6. 上記に該当しない要支援・要介護認定者
7. 運転免許証自主返納者
8. 母子手帳交付日から産後2ヶ月までの妊産婦
9. その他村長が必要と認めた方

利用時間

午前6時～午後7時まで(ただし、妊産婦はこの限りではない)

負担金及び運行区域

運行区域を超えた場合は、通常料金が発生します。



片道700円での運行区域

- 豊丘村全域
- 下伊那赤十字病院・尾地クリニック・高森眼科医院・竹村整形外科医院 等
- 国道153号線松川町新井交差点～飯田市上郷飯沼(ヤマダ電機交差点)までの範囲
- ※妊産婦のみ対象：高森レディースクリニック 等

片道1,400円での運行区域

- 飯田市立病院・飯田病院・健和会病院・輝山会記念病院・瀬口脳神経外科病院 等
- ※妊産婦のみ対象：西澤病院・羽場医院・平岩ウイメンズクリニック 等

タクシー会社

北部タクシー有限会社

申請方法

申請される方の顔写真(大きさ30mm×40mm)をご持参のうえ(データ可)、豊丘村社会福祉協議会にて申請書に記入をお願いします。写真は社協でも撮ることができます(別途40円かかります)福祉タクシー証がお手元に届くまで1～2週間ほどかかります。

お問合せ

豊丘村社会福祉協議会 総務課 TEL：0265-35-1122

ありがとうございました

昭和15年から16年生まれの6年3組の皆さん、長年ボランティア活動を続けてこられた河野ボランティアの会の皆さん、「豊丘ウインドアンサンブル」と「LALALAINA星空コーラス」の皆さんから豊丘村社協に寄付していただきました。

明日の豊丘村の福祉のために使わせていただきたいと思います。

社協会費にご協力をお願いします

皆さんが暮らしている地域では、ちょっとした助けを必要としている人や、困りごとを抱えている人など、さまざまな福祉課題や生活課題を抱えている人がいます。

社協ではそういった方々の問題を解決し、地域全体をより良くするため、住民の皆さんや行政などと協力して「誰もが安心して暮らせる豊丘村づくり」を目指して活動しています。

社協会費は7月から8月にかけて隣組長さんにご依頼し、村民の皆様にご協力いただいています。

■社協会費Q&A

Q：社協会員になった覚えはないよ…

A：社会福祉協議会は、住民の皆さんの自らが地域づくりに参加して、地域福祉を推進することを目的とした団体です。このため住民自身が会員として社協の基盤を支えています。

Q：どうしても出さなくてはいけないの？

A：社協会費は強制的なものではありません。ご賛同いただける方にご協力をお願いいたします。



よりみちカフェ



社協では、カフェ&ダイニングenで毎月第一水曜日の14時~15時に、よりみちカフェ(認知症カフェ)を開催しています。6月は、ミニイベン

ケアラーズカフェ

毎月第3木曜日の10時~11時、カフェ&ダイニングenでケアラーズカフェ(介護者さんのためのカフェ)を開催しています。6月は、11時からランチ会を行いました。男性の介護者の方や民生児童委員の方が参加してくれました。



トということで下伊那厚生病院の認知症介護認定看護師の谷川奈都子さんをお招きし、認知症の症状と対応についてお話を聞きしました。実際こんなことで困っている、という相談もその場で行いました。

どちらのカフェも6月はいつもと違った形で開催いたしました。4カ月に1回、こういった形で開催をしていく予定です。

村内の認知症カフェやケアラーズカフェについては、広報とよおかのおしらせカレンダーや、豊丘防災アプリのライブジョンでお知らせしておりますのでご覧ください。お問合せは、社会福祉協議会地域福祉課(担当宮下)までご連絡ください。



シニアクラブ春のマレットゴルフ大会開催

6月13日(木)、豊丘村シニアクラブ春のマレットゴルフ大会をアカシアマレットゴルフ場にて開催いたしました。40名の参加者は、会話を楽しみながら、和気あいあいとマレットを楽しみました。試合の結果は次のとおりです。

○個人成績

優勝 片桐 京子さん

準優勝 林 皎さん

第三位 中塚 勝子さん

○団体成績

優勝 田村

準優勝 福島

第三位 河野・伴野

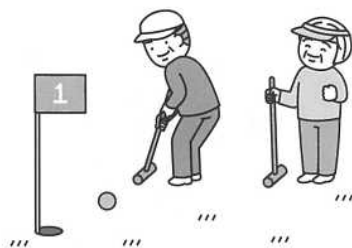


○ホールインワン

大倉兼男さん、片桐くらさん

春の大会上位7名が、10月開催予定の郡シニアクラブ連合会スポーツ大会に参加します。

シニアクラブでは、秋の大会を10月に水辺のマレットゴルフ場で予定しています。



赤い羽根共同募金の公募配分事業について



今年度、福島区では、赤い羽根共同募金の配分金（限度額：1地区20万円）を活用して、防災関係物品（ヘルメット）を整備しました。

今回の整備により、地区の防災活動や地区内環境整備作業などの更なる充実が図られることが期待されます。

共同募金は、安心・安全なまちづくり活動などに有効に活用されていますので、地区・自治会で活用希望がある場合は、社会福祉協議会か役場総務課までお問い合わせください。



福島区（防災用ヘルメット）

令和6年度 第1回 **フードドライブ** のお礼

6月3日(月)～6月14日(金)の間に第1回フードドライブを実施したところ、皆様から合計48個、総重量約25kgの温かいご寄付をいただきました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

◎いただいた食料

- お米（白米・玄米など）..... 16kg
- 調味料（だし・塩など）..... 6個
- インスタント食品（ラーメン・みそ汁など）..... 7個



- 缶詰・瓶物（はごろも煮）..... 1個
- お菓子（まんじゅう）..... 25個
- 粉類（蕎麦）..... 1個
- 飲料（お茶・栄養ドリンクなど）..... 4本

皆様から頂いた食料は、日々の食料にお困りの方や村内の福祉施設へお配りさせていただきます。

ボランティアセンターだより No.47

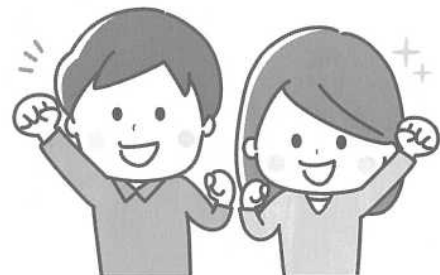
豊丘村ボランティアセンター TEL 35-1122 / FAX 35-1123 E-mail: vc@toyo-sha.jp

デイサービスセンターほほえみ ボランティア募集中！

デイサービスセンターほほえみでは「自分のやりたいことを楽しもう！」という、班別活動の時間を設けています。

カラオケ・手芸・卓球など様々な活動がありますが、地域のボランティアさんが見守り一緒に活動して下さるため、安心して楽しい時間を過ごすことができいております。

この班別活動は、毎月第3週目の1週間、午後の時間帯に行っており、一緒に活動して下さるボランティアさんを引き続き募集しております。ご協力いただける方は、社協地域福祉課までご連絡いただきますようお願いいたします。





～地域みんなとつながろう～ みんなのカレー

赤い羽根共同募金のテーマ「つながりをたやさない社会づくり」に向け、今年も『みんなのカレー』を実施します。地域のボランティアさんや社協など…地域のチカラをあわせて「みんなのカレー」をつくります!! つくったカレーは、地域の方同士お顔を合わせて食べましょう!
また、希望される方には食後のコーヒーの提供もあります。ボランティアさんによるドリップコーヒーです!! ☕
ぜひお誘いあわせてご参加ください!!

○日にち:7月27日(土)

○提供時間:11時～12時半まで

(限定200食、なくなり次第終了)

○場所:ゆめあるて大ホール

(大ホールは13時まで使用できます)

○参加:村内にお住まいの方どなたでも!!

○金額:無料

*当日体調のすぐれない方は参加をお控えください

【お問い合わせ】豊丘村社会福祉協議会地域福祉課 電話:35-1122

はっらっくクラブ紹介

はっらっくクラブでは、高齢者の身体機能や生活習慣の維持・向上を目的とした介護予防サービスを実施しています。

月・火・木曜日はマルシェでお買い物、入浴、脳トレ・体を動かすゲーム(輪投げ・スティックカーリング・ボーリング)などをして楽しんでいただいております。

水曜日は、「趣味を楽しむ会」ということで、工作や手芸に取り組んだり演芸を鑑賞していただいております。最近では、ぼた餅づくり、ラベンダースティックづくり・囲碁ボール・手芸・カラオケを楽しみました。

金曜日は、運動機能向上に特化した「ころばん塾」(体操教室)を午前と午後に行っています。下伊那厚生病院の理学療法士と柔道整復師の先生の指導のもと体操に取り組み、年に2回体力測定を行い体力評価もします。

はっらっくクラブに通うことで生活にメリハリが生まれ、活動を共にする仲間ができることで居場所ができます。様々なレクリエーションで脳を使うことにより認知症予防になり、大笑いして免疫力アップ、血圧チェックで自分の健康について関心をもつことができます!また買い物へ行き、社会参加の意欲を高めます!はっらっくに通えばいいことづくし!!

いつまでも「元気はっらっく!!」でいたい!と思っている方、いつでも、見学・お試しができますのでご連絡お待ちしております。

ご利用を希望される方は、村の地域包括支援センター(35-9064)までお問い合わせください。

